



明けましておめでとうございます。

CTF松阪会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。

昨年早々に始まった“新型コロナウイルス”のパンデミックによって、現在は第3波の真っただ中ですね。外出や大勢での会食を自粛するのにも皆さん、疲れてきたのではないのでしょうか。

60代、70代、80代と年齢を重ねるにつれて、重症化のリスクが高くなるというデータが出ていますので、くれぐれも感染しないようにご注意をお願い致します。

ワクチン開発が進んでおり、副反応の心配もありますが、それよりもはるかに大きな効果が期待できるようです。

“正月は自宅でのんびりと” “神社参拝は分散して”

今年は「丑年」ですね。「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味が与えられました。

「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢、耐える」や「発展の前触れ、芽が出る」を表す年になると言われています。

日本及び世界の今年を予言しているように感じます！！

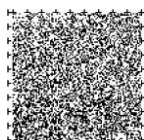


明けましておめでとうございます。

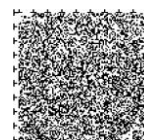
2020 年は新型コロナの為に人間社会にとって大きな変化の年でした。少し神頼みの所もありますが、今年はワクチン等が配布できるようになり、この病もインフルエンザと同じような病気になっていくものと思われま。ただ、この新型コロナの出現は私たち人類に対して自然という神からの大きな警告ではないかと私は感じております。四五百森の中で自然を大切に、共存することがもっと大事になるのではないかとお思います。

皆様が今年一年、健康で幸せに暮らせることを祈念します。

Y. I

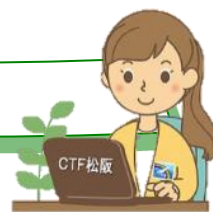


今月号は文字数が多いので、第 1、2、4 ページに音声コードを 2 個付けてあります。第 1、2、4 ページでは、先に左下の音声コードを、次に右下の音声コードを読んでもらいます。





タッチパネルってどういうしくみ？



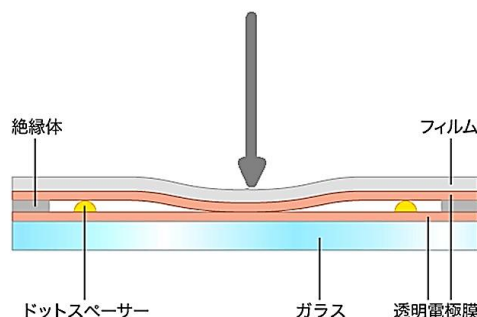
スマートフォンをはじめ、iPad、ATM、ゲーム機など多くの機器にタッチパネルが採用されています。ひとくちにタッチパネルといっても、画面に触れた指やペンを検出する方式はさまざまです。今回はタッチパネルの代表的な検出方について、その特徴と最適な用途について紹介します。

タッチパネルは、大きくわけて「抵抗膜方式」と「静電容量方式」の2種類があります。

■ 抵抗膜方式

抵抗膜方式はいわゆる「押す力」に反応するタッチパネルで、ペンや指で押すことで反応します。ゲーム機などで採用されています。「感圧式」や「アナログ抵抗膜方式」と呼ばれることもあります。

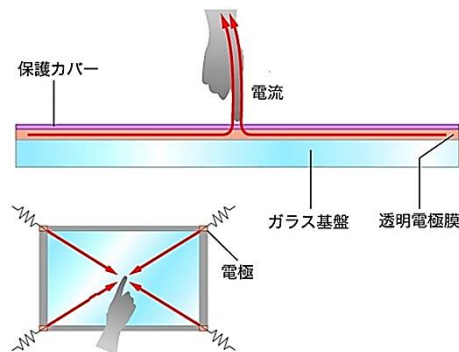
この方式では、指やペンなどで押した画面の位置を電圧変化の測定によって検知します。内部構造は、それぞれ透明電極膜（導電層）を配置したガラス面とフィルム面を少しだけすき間を設けて張り付けたシンプルな構造です。フィルムの表面を押すと、フィルム側とガラス側の電極同士が接触して電気が流れ、その電圧の変動を検出することで接点の位置をとらえます。



■ 静電容量方式

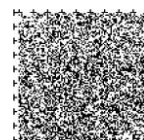
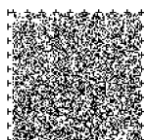
こちらは「電気」に反応するタッチパネル。スマートフォンや携帯電話などに使われることが多いようです。

この方式では、画面に指で触れると発生する微弱な電流、つまり静電容量（電荷）の変化をセンサーで感知し、タッチした位置を把握します。指を画面に近づけると、人体の静電容量にセンサーが反応するため、画面に接触する寸前でポインターを動かすような操作も可能です。



主なタッチパネル検出方法の違いと特徴

検出方式	抵抗膜	静電容量
光透過率	△	○
指でのタッチ	◎	◎
手袋でのタッチ	◎	×
ペンでのタッチ	◎	△（専用ペン）
耐久性	△	◎
耐水滴	◎	◎
コスト	◎	△





活動報告

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(15日、22日)

CTF 会員スキルアップ研修会

(21日)



活動予定

【1月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

12日、19日、26日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

徒然なるままに



光明皇后が建立した“法華寺”については以前ご紹介したが、もう一ヶ寺“新薬師寺”も建立されたのじゃ。

“新”という名がついておるが、西ノ京にある薬師寺とは宗派も異なれば創建の由来も異なるなど、全く関係がないのじゃ。東大寺の盧舎那大仏（るしゃなだいぶつ）の造立を発願された聖武天皇が体調を崩されたので、病氣平癒を願って光明皇后によって創建されたそうじゃ。

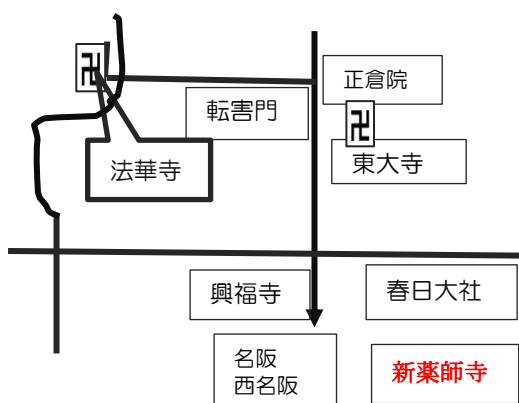
わしは3回ほど訪れたことがある。新薬師寺の見どころといえば、やはり心身の健康を守るとされる本尊の薬師如来像とその眷属である十二神将像であろう。

本堂の中央に鎮座する薬師如来像はその目が大きく美しいことから眼病の人の参拝が絶えず、両脇に日光菩薩と月光菩薩を従え、さらにこれらを守る武将・十二神将を従えておる。世界最大最古の十二神将像として知られており、12の方角を守護していることか

ら、干支（十二支）の守護神としても信仰されておる。



本堂



薬師如来



薬師如来と十二神将

【参考文献】新薬師寺公式ホームページ、奈良市観光協会サイトほか





リレー随筆

伊勢志摩へちょっとお出かけ

UP

「Go To トラベルキャンペーン」を利用して伊勢志摩方面へちょっとお出かけしてきました。旅行代金の35%と15%相当の「地域共通クーポン」が付与されるとってもお得なキャンペーンです。

今回は伊勢志摩方面ということで大王崎のリゾートホテルで1泊、翌日は相差の海部小屋で昼食、石神さん参拝、その後二見駅近くの赤福でお茶して帰るルートです。

ホテルの予約は9月の中旬にしたのですがメジャーなところは平日にもかかわらずキャンセル待ち状態でした。

宿泊ホテルは最上階のメゾットタイプで夕食は伊勢海老、アワビ満載の懐石料理コースを選択です。

このホテルの温泉めっちゃ塩辛い。ちょっとした傷があるとヒリヒリします。温水プールが併設されていたので久しぶりに泳いできました。

翌日はパールロードを通過して相差まで移動、海部小屋で海女さんに伊勢海老やサザエを焼いてもらった昼食を食べてきました。昨日から魚介類ばかり食べているのでちょっとお腹一杯。支払いはもちろん地域共通クーポン券です。

その後近くの神明神社石神さんをお参りしてきました。ここは女性の願いを一つは叶えてくれるそうです。

その後パールロードの鳥羽展望台からの眺望を堪能して、二見駅近くの赤福へ移動です。ここはおはらい町に比べ人少なめ、お餅ちょっと苦手なのでここでは抹茶のみ、ちょうど赤福も最後のようなのでした。

今はGo to トラベル中止になっていますが再開されたらまたどこかへ出かけようかと思っています。



ホテルから賢島方向の眺望



相差 海部小屋



相差 石神さん



二見 赤福



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに関する情報が巷にあふれ、その対応に悩まされた1年でした。

まだまだ終息の兆しは見えていませんが、ワクチンや治療薬の開発が進んでおり、明るい動きが見られる年になるものと信じています。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



CTF 通信第 214 号

2021年(令和3年)1月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 山田 則 男

住所 〒515-0083

松阪市中町 6-9-140

電話 0598-26-6333

URL <http://ctf.dip.jp/>

